

令和4年度第3回 環境審議会

日時：令和5年3月23日（木） 14時00分～

場所：海津市役所 東館 4階 災害対策本部室

出席者 委員9名

欠席者 委員3名

事務局 市民環境部長、環境課長以下4名

会議次第

1. あいさつ 市民環境部長

今回は前回審議会以降に行った内部調整や、委員からいただいた意見などにより修正したものをお示しする。

市議会においても環境基本計画に関する一般質問があり、ゼロカーボンシティ宣言を行う旨を答弁した。

2. 協議事項

第3次環境基本計画（案）について

（1）パブリックコメント結果について

2月10日から3月13日までの間に当課、海津図書館、4支所、ホームページ掲載にて実施したが、意見はなかった。

（2）前回審議会からの修正・変更事項について

別紙「ゼロカーボンシティかいづ宣言（案）」を追加配付し、以下のとおり説明した。

1-2～1-3	位置づけなど、分野を分かりやすく表記、図示。
1-29～1-33	現状の課題の整理がわかりづらく、第5章で再度整理。これに基づいて第6章へ
2-1～2-4	もともと「現況について」から始めていたが、本計画が意味するところが無いので、第1章同等の説明をするために新規追加。
2-11	本市の目標について、「国と県の目標値が異なるので追って確定する」としていた目標値を、「より高みを目指す」として、県が示す48%で決定する。

2-16～2-19	地域脱炭素ロードマップを追加。2050年の温室効果ガス排出実質ゼロに向けての行程、施策を示した。また、別紙「ゼロカーボンシティかいつ宣言（案）」により取り組んでいく。 2/28 現在、全国で871自治体、県内では13自治体が「ゼロカーボンシティ宣言」をしている。宣言したうえで、本計画に施策を明示しているので、目標として進めていく。
第3部 事務事業編	新規。市と市民が一体となって取り組むために、市の事務及び事業を追加する必要があると記載した。
資料編4-27～	用語解説を追加。

(質疑)

委員 このゼロカーボンシティ宣言をすることによって、私たち市民はどういう関わりをすれば良いのか。

→本計画と同時に宣言するもの。計画書の調整後3月中には公表したい。

策定後公表だが、計画書については8ページものの概要版を示していきたいので、作成する準備をしている。

委員 審議会として、この宣言に関してどういう立場にあるのですか。意見がないということは「これで良い」としていいのか。

→その考え方をお願いしたい。よって意見がなければお認めいただいたものとします。

委員 用語解説のスペースに「ゼロカーボン」とは何かを記載してほしい。

読んでいて何となくは分かるが、誰かから聞かれた時の説明が非常に難しい。

→スペースが若干あるので、記載する方向で進めます。

委員 10年待たずに計画を改定との認識だが、このあと10年計画ということか。

→そのとおりです。1-3に記載有りますが、令和5年度から14年度までの10年間で。

委員 10年というのは非常に長いので、進捗状況の確認はするのですか。

計画書の中に記載はありましたか。

→進捗管理についても 1－4 4 に記載しており、こちらに基づいて管理していく。毎年、進捗状況についてお知らせしながら行っています。

委員 この計画とは関係ないものの環境問題に関連してお伝えしたいことがある、現在、東海環状自動車道の工事が進んできているが、志津地区の湧き水が減らないか心配している人がある。市として念頭に入れてほしい。

(1 4 時 3 0 分 終了)